

公安委員会定例会議(第1回)の開催状況

第1 日 時 令和3年1月13日(水)

午後1時40分 ～ 午後4時40分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、増田委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官
生活安全部長、刑事部長、交通部長、警察学校長
情報通信部長、総務課長、公安課長

第3 議事の概要

1 増田委員説示

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、交通事故や特殊詐欺の発生件数が前年と比較して減少しました。今年にはさらに減らすために、徹底した分析による対策を講じることに加え、人が陥りがちな「自分は事故に遭わない。特殊詐欺被害に遭わない」という思い込みを変えてもらうよう、工夫を凝らした情報発信が必要であると考えます。

松山出身の俳人高浜虚子は、「去年今年貫く棒の如きもの」という句を詠んでいますが、新型コロナの猛威が去年今年を貫いて様々なところに影響を及ぼしています。こうした中でも、我々の仕事は何ら変わりませんし、今、すべきことは、目の前の仕事をきちんとこなすことと、感染しないよう努力することではないでしょうか。

令和2年は、ベートーヴェンの生誕250年でした。代表曲の一つに、交響曲第9番(第九)があります。この第九は日本でも好まれ、コロナ禍においても、演奏を絶やしたくないとの熱意を持つ人々が、歌手の人数を減らしたり、パート別に録画や録音をしておいて一つにつなぎ合わせたりするなど、工夫した形で演奏を続けています。

我々は、コロナ禍で多くのものを失いました。失ったものの中で、取り戻し残すべきもの、残す必要がないもの、それぞれをよく考えて、新しいやり方など、何がベストかしっかりと検討し、業務を進めていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和2年第32回公安委員会定例会議の会議録について伺

いがあり了承した。

- (2) 愛媛県公安委員会委員の服務の宣誓に関する条例の一部改正
総務室から、愛媛県公安委員会委員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について伺いがあり了承した。
- (3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答
総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。
- (4) 審査請求の申立て
警務部から、審査請求の申立てについて報告があり了承した。
- (5) 禁止命令等実施報告
生活安全部から、禁止命令等実施報告があり了承した。
- (6) 公安委員会表彰の推薦
交通部から、公安委員会表彰（感謝状）の推薦について伺いがあり了承した。
- (7) 愛媛県警察関係事務手数料条例の一部改正
交通部から、愛媛県警察関係事務手数料条例の一部改正について伺いがあり了承した。

3 報告事項

- (1) 令和3年春季人事異動の日程
警務部長から、令和3年春季人事異動の日程について報告があった。
- (2) 令和2年中の交通事故発生概況
交通部長から、令和2年中の交通事故発生概況について報告があった。
委員から、「高齢者対策と横断歩行者対策に注力していただきたい」との発言があった。
委員から、「効果的な広報と併せて、関係機関との連携を密にしつつ、交通事故の抑止に努めていただきたい」との発言があった。
- (3) 交通重大事故抑止3か月対策の実施
交通部長から、交通重大事故抑止3か月対策（第1期）の実施について報告があった。
委員から、「皆の交通安全意識の高揚を図る取組を推進していただきたい」との発言があった。
委員から、「歩行時等の反射材の着用や自転車のヘルメット着用に関する意識付けを図っていただきたい」との発言があった。

委員から、「横断歩道における事故抑止と速度超過車両に対する徹底した指導取締りなど、各種対策を進めていただきたい」との発言があった。

(4) 県警における新型コロナウイルス感染症対策の取組

警務部長及び公安課長から、県警における新型コロナウイルス感染症対策の取組について報告があった。

委員から、「過去の殉職事案には、疫病対応中にり患した警察官もいたことから、感染症対策には万全を期していただきたい」との発言があった。

(5) 機動隊家族交流会の実施結果

公安課長から、機動隊家族交流会の実施結果について報告があった。

委員から、「警察官の業務について、家族の理解を得る意味でもよい取組であった」との発言があった。

(6) 初任科生卒業式の実施

警察学校長から、初任科生卒業式の実施について報告があった。

(7) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(8) 人事案件に関する報告

警務部から、人事案件に関する報告があった。

(9) 苦情の受理及び処理状況

総務室から、苦情の受理及び処理状況（令和2年12月末）に関する報告があった。

4 その他

(1) 本部長から、「署において、県警察で初めての新型コロナ陽性者が出たが、軽度の接触者も含めて幅広く自宅待機とするとともに、手厚い応援を出すなど、治安に間隙を生じさせない対策を取っている。新型コロナ対策では、引き続き、職員が体調不良時等に報告しやすい環境づくりに努めていきたい」、「委員説示のとおり、コロナ禍の今をイノベーションの機会と捉え、新しい取組等について考え続けていきたい」との発言があった。

(2) 警務部長から、令和2年度観閲式の中止について、総務室長から、警察署長会議の開催方法の変更について報告があった。

以上